

消費者庁作成「若手従業員向け研修プログラム」活用の御案内

若手従業員向け「消費生活に関する研修プログラム」 「消費者と企業人の視点で考えよう 消費生活のキホン」



「従業員がトラブルにあわない」 & 「消費者（お客様）目線で考える」ために

消費生活に関わる5つのテーマを「消費者」と「企業人」2つの視点で学ぶ研究プログラム

消費者
トラブル
の対応

持続可能
な社会
の形成

製品安全
の考え方

生活を
支える
お金

インター
ネット
取引

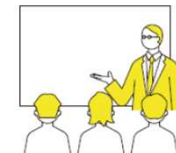
本プログラムを使った研修を実施していただける事業者様を募集しています！

活用例① 研修担当者が講師になる

研修用スライドや台本等、研修に必要な教材はすでに揃っているので、資料を準備する必要がありません。講師用指導ガイドや研修ガイド動画も参考にできます。

活用例② 講師を派遣してもらう

「講師をするのは自信がない…」という事業者の方には、講師を派遣します！消費生活に関する専門的なアドバイスを受けたり、効果的なワークショップを実施することができます。



活用例③ オンデマンド配信による研修

時間が限られている場合や、集まって研修をすることが難しい事業者の方のために、研修用スライドを解説してくれる受講者用講義動画も用意しています。時間が空いた時に各々のタイミングで受講できます。



活用例④ 必要な部分だけカスタマイズして使う

5つのカリキュラムを用意していますが、必要なカリキュラムやパートだけをカスタマイズして使うこともできます。また、自社の資料を使って自社の消費者向け活動や社会貢献活動等に関連させて取り上げることができます。



活用例以外の研修の実施方法もぜひ御相談ください！

研修プログラムの詳細は裏面へ



5つのカリキュラムの内容

- ・カリキュラムは**60分～90分程度**
- ・御要望に応じてテーマを選択し、**講義・ワークショップを組み合わせ**て実施できます！

1. 消費者トラブルへの対応

効果 消費者トラブルを防ぐために必要な知識を学べる。

- 内容**
- ・若者に多い消費者トラブル事例
 - ・契約
 - ・消費者を守る法制度
 - ・企業に求められること



2. 持続可能な社会の形成

効果 社会の持続可能性のために消費者と企業にできることを学べる。

- 内容**
- ・SDGsとは何か
 - ・消費者と企業が社会に与える影響
 - ・SDGs達成に向けた消費者と企業の取り組み事例



3. 製品安全の考え方

効果 誤使用や不注意等による製品事故を防ぐ方法を学べる。

- 内容**
- ・製品事故の原因
 - ・安心な使用に向けた消費者と企業の役割
 - ・事故を防ぐ仕組み



4. 生活を支えるお金

効果 未来を考えた計画的なお金の使い方を学べる。

- 内容**
- ・家計管理
 - ・クレジットやローン
 - ・資産運用
 - ・お金のトラブルの相談先



5. インターネット取引

効果 インターネット取引や、デジタル広告に関する注意点を学べる。

- 内容**
- ・トラブル事例
 - ・インターネット取引の仕組み
 - ・デジタル広告
 - ・企業が守るべきルール



研修プログラムの詳細はこちら ⇒

またはインターネットで検索



消費者庁 若手従業員向け



【問合せ先】

消費者庁新未来創造戦略本部

担当：楠、金石

TEL：088-600-0000 FAX：088-622-6171

必要なカリキュラム・
パートをカスタマイズ

アニメーション形式で
コンパクトに学べる
講義動画あり

講義・ワークショップを
行う講師を派遣
します

消費者視点での学び
& 企業視点での学び
⇒「自社について考える」
につなげる構成

研修用ツール

- ①研修用スライド
(Power Point
形式)



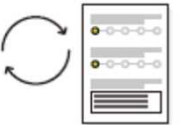
- ②受講者用
講義動画



- ③受講者用ワークシート
(word 形式)



- ④受講者用アンケート
(word 形式)



講師向けツール

- ⑤講師用指導
マニュアル



- ⑥研修ガイド
動画

